

エルツおもちゃ博物館・軽井沢 2025年 春夏展 「想いを果たえるミニチュア展」

プレスリリース

～エルツ地方のおもちゃ工房をたどって～

会期：【前期】2025年3月 8日（土）～2025年 6月 9日（月）

【後期】2025年6月11日（水）～2025年10月 13日（月）

ドイツ・エルツ地方は、木のおもちゃ作りで世界的に有名な地域です。「おもちゃの町」として名高いザイフェンをはじめ、オルベルハウやドイチョイドルフなど、木のおもちゃ作りを営む地域が多くあります。

エルツ地方のおもちゃ工房では、「くるみ割り人形」や「パイプ人形」といった伝統的なおもちゃの他に、多彩なミニチュアも制作されています。本展では、ミニチュアに焦点をあて、おもちゃ職人の技術と、おもちゃ制作にこめた想いやこだわりを紹介しています。

例えば、ライヒセンリンク工房では、春にぴったりの「花」のミニチュアが制作されています。ライヒセンリンク工房は、1904年にエミール・ライヒセンリンクが創業した工房です。エミールの息子エーリッヒが工房を継ぐと、より親しみのある「生誕」や「イースター」にくわえ、工房の看板商品にもなっている「花」のミニチュアが生み出されました。この「花」のミニチュアを孫娘のギッタがさらに発展させています。ライヒセンリンク工房では、親子で作品を受け継ぎ、守りながら現在まで伝えています。

1933年に創業のエミール・ヘルビッヒ工房は、木彫りのミニチュア制作が特徴的です。作品は全て手彫りで制作されており、動物の筋肉なども巧みに表現され、今にも動き出しそうな印象をうけます。ヘルビッヒ工房が大切にしている「手彫りにしかできない表現をする」という理念が、ミニチュアから伝わってきます。

ミニチュアがつくる世界を楽しみながら、エルツ地方のおもちゃ工房を知る機会になれば幸いです。



▲花屋のミニチュア、イースターラビット／Leichsenring 温室／Reutter Porzellan



▲エミール・ヘルビッヒ工房のミニチュア

【企画展概要】

タイトル	2025年春夏展「想いを果たえるミニチュア展」 ～エルツ地方のおもちゃ工房をたどって～
会期	【前期】2025年3月 8日（土）～2025年 6月 9日（月） 【後期】2025年6月11日（水）～2025年10月 13日（月）
場所	ムーゼの森 エルツおもちゃ博物館・軽井沢
開館情報	◆開館時間 【3月～4月】10：00～16：00 【5月～10月】9：30～17：00 ※最終入館は閉館の30分前 ※4/26（土）～4/30（水）は9：30～17：00 ◆休館日 火曜日 ※GW 期間中の4月29日、5月6日は開館（5月7日は閉館）、7月～9月は無休 ◆入館料 大人800円、中・高生550円、小学生400円、小学生未満無料 【軽井沢絵本の森美術館とのセット券】大人1,500円、中・高生1,000円、小学生700円、小学生未満無料

～エルツ地方のおもちゃ工房をたどって～

会期：【前期】2025年3月 8日(土)～2025年 6月 9日(月)

【後期】2025年6月11日(水)～2025年10月 13日(月)

展示の見どころ

ヘルビツヒ工房 小箱のおもちゃ



1944年1月6日、私はノルマンディーのバンカーで、その小箱を受け取りました。戦争の絶望の中で、この小箱の光景は平和への憧れを象徴する、一筋の希望の光でした。もう50年前のことですが、今この小箱は、手にする人に、再び希望と幸運と喜びを与えるはずで

▲小箱のおもちゃ(左)、小箱についているメッセージカード(中央)、メッセージカードの翻訳(右)

エミール・ヘルビツヒ工房は、1933年に、エミール・ヘルビツヒによって創業されました。1949年になると、エミールの息子・ヴァルターが工房を引き継ぎ、小箱のおもちゃを制作しました。

この小箱は、戦時中にエミールがヴァルターに送ったおもちゃを再現したものです。ヴァルターは、この小箱に勇気づけられ、自身でも作り始めました。小箱には、ヴァルターの想いが綴られたメッセージカードがついています。

ベッティーナ・フランケの木彫り人形

ベッティーナ・フランケ工房は、1929年に設立されました。当時は「ゲンゼリーゼル(Gänseliesels)」という社名でした。「がちょう番のおすめ」という意味で、現在では、工房のロゴマークに「がちょう番のおすめ」がデザインされています。

素朴なデザインと、カラフルな色合いが特徴的です。この特徴をよく感じられるのが「Meine Kinder(わたしのかわいい子どもたち)」シリーズです。かわいらしい洋服のデザインと、おだやかな表情が見る人をあたたかい気持ちにさせてくれます。

ベッティーナ・フランケ工房がかかげる理念の1つに「環境保全」があります。そのため、おもちゃ作りには、環境や身体に害の少ない「無溶剤」の塗料や接着剤が使われています。ベッティーナ・フランケ工房で作られるおもちゃの1つ1つには、そうした環境や社会への想いも込められています。



▲「がちょう番のおすめ」のおもちゃと工房ロゴマーク(左)
「Meine Kinder(わたしのかわいい子どもたち)」シリーズ(右)

【お問い合わせ先】

ムーゼの森 エルツおもちゃ博物館・軽井沢 【TEL】0267-48-3340【E-mail】info@museen.org
〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 193-3 (ムーゼの森) FAX: 0267-48-2006
企画展特集サイト <http://museen.org/event/>